

のびのび通信 2月号

ひろにわ地域子育て支援センター

暖冬とはいえ、まだまだ冷たい風が吹いています。家に閉じこもりやすくなりますが、晴れ間がのぞく日は外に出てみませんか？心も身体も解放され、引き締まるような新鮮な空気を胸一杯吸い込むことで免疫力も高められますよ。ぜひ、支援センターの園庭にお越し下さい。

～ のびのびカレンダー 2月 ～

月	火	水	木	金	土
					1 お休み
3 サロン	4 サロン のびのび in 杷木	5 サロン	6 サロン	7 サロン	8 お休み
10 サロン	11 お休み	12 サロン	13 サロン	14 サロン	15 お休み
17 サロン	18 サロン のびのび in 杷木	19 サロン	20 サロン 誕生会	21 サロン 親子支援館ピッコロ	22 お休み
24 お休み	25 サロン のびのび in 杷木	26 サロン 身体測定	27 サロン のびのび in 秋月	28 サロン	29 お休み

ひろにわ地域子育て支援センターののびのび（通称サロン）は月～金の10時～15時まで開いています。お好きな時間にお越しください。ご利用は無料です。室内のおもちゃや園庭で親子いっしょに遊びましょう。「木のおもちゃ」も用意していますのでたくさん触れて遊んでください。ランチタイムは12時～13時です。お昼ご飯をもってきてみんなで食べることもできます。



のびのび出張サロンとは？

支援センターのスタッフが各地域のコミュニティに伺い子育てサロンを開催しています。ご利用は無料です。木のおもちゃなどで遊んでみませんか？マタニティさんや祖父母の方も大歓迎です。

杷木・・・毎週火曜日	10時～15時	杷木らくゆう館 和室
立石・・・毎月第2又は4水曜日	10時～11時30分	立石コミュニティセンター
秋月・・・偶数月の第4木曜日	10時～12時	秋月コミュニティセンター
上秋月・・・奇数月の第3水曜日	10時～12時	上秋月コミュニティセンター

開催日時の変更は通信にてお知らせいたします

令和2年2月1日発行

開館 月～金曜日 10時～15時

奇数月土曜日 10時～13時

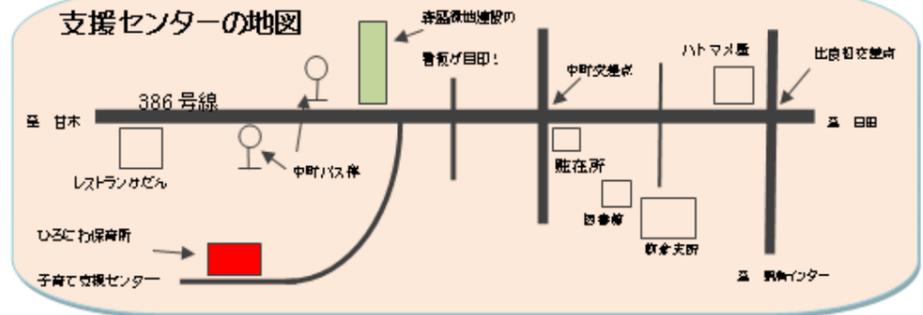
※祝祭日はお休みです

場所 朝倉市入地2607-1（ひろにわ保育所内）

電話 080-8352-4178（直通）

「ひろにわ子育て支援センター」で検索できます

支援センターの地図



◎ おしらせ ◎

予約・詳細は支援センターまでお願いします

◆2/4(火)【育児講座 「いいんだよ」は魔法の言葉

～寛容の精神が醸成される社会～ 10:30～

学校法人立花学園立花高校 校長齋藤真人さんの子育て講演会を行います。育児など日々の生活の中で迷う事がいくつもあります。ぜひ「いいんだよ」の素敵なお話にふれて下さい。

講師：齋藤 真人校長(学校法人立花学園立花高校)

場所：杷木コミュニティセンター

※人数把握のため予約をお願いします。



◆2/21(金)【ゴムつきタオルスタイづくり】10:30～

タオルを使ってスタイをつくります。お食事エプロンとしても使えます。裁縫が苦手な方も、参加者の方と協力しながら作りましょう。

場所：親子支援館ピッコロ

※持参するもの：タオルかハンドタオル

裁縫道具（お持ちなら）

※人数把握のため予約をお願いします。

※必要な方はおんぶ紐などをご用意ください



◆2/27(木)【親子deオリンピック in 秋月】10:30～

東京オリンピックの前に、秋月で親子のスポーツ大会(?)を開催します。笑って、声を出して、日頃のストレスを発散しましょう！

場所：秋月コミュニティセンター

※動きやすい恰好でお越しください。

※人数把握のために予約をお願いします。



大人気☆ミルク缶を利用した型落としのおもちゃはサロンでいつでもつくれます。スタッフへお声掛けください。

※ミルク缶とペットボトルのキャップを

お持ちの方は持って来てください。



立石子育て広場からのお知らせ

2/12(水) 10:00～11:30

「イヤイヤ期のお話しと育児相談」

講師：徳永 扶美子先生

イヤイヤ期は本当に大変なの？イヤイヤ・夜泣き・愚図り…子育ての「大変さ」が「楽しい」と思えるヒントになるかもしれません。ぜひ、お越しください。



AI時代を生きるお子さんたちへ

～絵本のちから～

先日、絵本に関する講演会があり、作家さんや編集者のお話を聞く機会がありました。

「絵本はお子さんが最初にであう芸術」

「絵本は大人が全力でつくるもの」

「絵本は大人が子どもに読んでやるもの」

1冊の絵本ができるまでには2～3年かかるそうです。作家さんと編集者は何度も話し合い真剣に取り組みます。絵本の中には親子3代にわたって読み継がれているものもあります。その絵本を読んでいると自分自身が「幸せな時間」にタイムスリップできます。

読んでもらった時の雰囲気、やさしい声、肌のぬくもり…。この「幸せな時間」の蓄積が、学童期や社会に出たとき、辛いことがあっても乗り越える力となります。空想と現実を行き来させている0～3歳の頃は、「絵本の黄金期」とも言われます。大好きな人に、安心できる場所で同じ本を心行くまで読んでもらうこと…「幸せな時間」ですね。

お子さんに絵本を読み聞かせているとじっと大人の目を見つめる瞬間がありませんか？

他者との関係が築きにくい時代にあっても、人間は一人では生きていけません。「他者と喜びを分かち合う力を育てる」(児童精神科医 佐々木正美) こそ、これからの時代に生きていくお子さんにつけてあげたいものだと話されていました。